試験Ⅰ

問題　1

⑴　**正解：1　ランク：A**

【摩擦音】

1）[ɾ]　有声歯茎弾き音（ラ行の子音）
2）[s]　無声歯茎摩擦音（サスセソの子音）
3）[ʒ]　有声硬口蓋歯茎摩擦音（collage など）
4）[h]　無声声門摩擦音（ハヘホの子音)
5）[ð]　有声歯摩擦音（this など）

1）は弾き音。他は摩擦音。

⑵　**正解：2　ランク：A**

【促音の調音法】

促音は、後続音の調音点と調音法に影響を受け、後続子音と同じ口の構えで１拍分待つ。音声記号は後続子音と同じ記号を重ねて書く。

1）[kikkɯ]　破裂音
2）[gohho]　摩擦音
3）[toppɯ]　破裂音
4）[hotto]　破裂音
5）[rappa]　破裂音

2）は摩擦音であり、調音点の隙間に呼気を通した状態で１拍分待つため、その間は息の音が聞こえる。他は破裂音であり、調音点に閉鎖を作った状態で１拍分待つため、その間は無音になる。

⑶　**正解：5　ランク：A**

【複合名詞のアクセント】

複合名詞のアクセントは、基本的には語単独のアクセントから変化し、複合語特有のアクセントになる。

1）チーズ（HLL）+かまぼこ（LHHH）
→チーズかまぼこ（LHHHLLL）

２）クラブ（HLL）+活動（LHHH）
→クラブ活動（LHHHLLL）
３）幼児（HLL）+教育（LHHH）
→幼児教育（LHHHLLL）
４）宇宙（HLL)+開発（LHHH）
→宇宙開発（LHHHLLL)
５）整理（HLL）+整頓（LHHH）
→整理整頓（HLLLHHH）

５）は語単独のアクセントから変化していない。

⑷ **正解：４　ランク：A**

【連声の有無】

「連声」とは、語と語が合成される際の変音現象の一つで、前部要素末尾[m][n][t]と後部要素語頭の母音・ヤ行・ワ行が接続したとき、その音がマ行・ナ行・タ行に変わる現象のこと。例えば、観（かん）と音（おう）が接続して観音（かんのん）になるなど。
１）隠（おん）＋密（みつ）→隠密（おんみつ）
２）経（けい）＋年（ねん）→経年（けいねん）
３）出（しゅつ）＋納（のう）→出納（しゅつのう）
※「すいとう」と読むこともある
４）反（はん）＋応（おう）→反応（はんのう）
５）珍（ちん）＋味（み）→珍味（ちんみ）

４）は、前部要素（反）の末尾[n]と後部要素（応）の語頭母音が接続し、ナ行に変化している。

⑸ **正解：３　ランク：A**

【音読み・訓読み】

１）二…ニ（音読み）　ふた／ふう（訓読み）
２）三…サン（音読み）　み／みっ／みい（訓読み）
３）四…シ（音読み）　よ／よん（訓読み）
４）五…ゴ（音読み）　いつ（訓読み）
５）九…ク／キュウ（音読み）　ここの（訓読み）